

(4) 学習の展開 【3・4年生 複式学級】

第3学年			第4学年			
評価規準 (評価方法)	指導上の留意事項(・) と「努力を要する」状況と判断した児童への支援(●)	学習活動 主な発問(◎)と予想される児童の反応(・)	指導者	学習活動 主な発問(◎)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意事項(・) と「努力を要する」状況と判断した児童への支援(●)	評価規準 (評価方法)
	<p>・前時の学習問題を振り返って、本時の課題解決のヒントとする。</p> <p>・あらかじめ児童のノートに問題を貼っておく。</p>	<p>1. 前時の復習をする。</p> <p>2. 問題を読み、題意をつかむ。</p> <div data-bbox="672 579 1234 1062" data-label="Figure"> </div> <p>◎問題を見て、見通しを立てましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな数直線があります。 ・1めもりがいつも「1」ではなさそうです。 ・一番小さい1めもりがいくつ分かを考えると、答えが分かりそうです。 <p>3. 本時のめあてを確認する。</p> <p>◎学習課題を立てましょう。</p>		<p>1. 前時の復習をする。</p> <p>2. 問題を読み、題意をつかむ。</p> <div data-bbox="1481 589 2044 753" data-label="Text"> <p>次の小数の大きさをくらべましょう。 また、不等号を使って式にかきましょう。 0.267 0.28</p> </div> <p>◎問題を見て、見通しを立てましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/10の位の大きさは同じです。 ・1/100の位の大きさを比べたらよさそうです。 ・数直線にかいて大きさを比べることもできそうです。 ・0.001のいくつ分かで比べられそう。 <p>3. 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="1481 1149 2304 1207" data-label="Text"> <p>小数の大きさのくらべ方を考えよう。</p> </div> <p>4. 自力解決をする。</p> <div data-bbox="1481 1352 2044 1506" data-label="Text"> <p>0.267 1/100の位で比べると… 0.280 数直線では</p> </div>	<p>・前時の学習の掲示を確認しながら振り返って、本時の課題解決のヒントとする。</p> <p>・整数や1/10の位までの小数の大きさをどのように比べたかを想起させる。</p> <p>●既習の「1/10の位」を基に、「1/100の位」、「1/1000の位」を予想させ、各位の名称を掲示しておく。</p> <p>・小数の位取り表を掲示しておき、何の位について説明している</p>	
	<div data-bbox="384 1535 1303 1593" data-label="Text"> <p>1番小さいめもりがいくつ分かを考えて、数直線の数をよもう。</p> </div>	<p>4. 自力解決をする。</p>		<div data-bbox="1481 1651 2044 1709" data-label="Text"> <p>0.267 < 0.28</p> </div>		

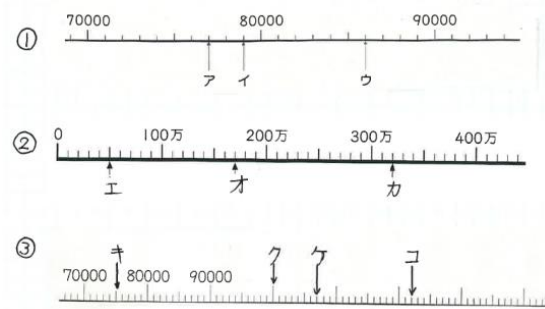
・数直線のコピーを複数枚用意しておき、書き込みつつ確かめられ鵜ようにする。

・位取り表を掲示しておき、「何の位を考えているのか」を常に意識させる。

●つまづいている児童には、「10めもりがいくつ」で、「一番小さい1めもりがいくつ」になるのか、を考えさせる。

・数直線上に数を表したり、数直線上の数をよんだりすることができる。(ノート)

下の数直線を見て答えましょう。



5. 考えを出し合う。

①の数直線を見てください。

①の数直線は、10めもりで1万になっていますね。だから、1めもりは1000です。1000ずつ増えるので、アは77000、イは79000、ウは86000になります。

②の数直線を見てください。

②の数直線は、10めもりで10000になっていますね。だから、1めもりは1000です。1000ずつ増えるので、エは87100、オは、87600、カは88500になります。

それぞれの位の数字を比べると、1/10の位は同じで、1/100の位は6と8だから、6になっている0.267の方が小さいです。

数直線にかいてみると、0.267の方が左にかくようになるから、小さいです。

0.001のいくつ分かで考えると、0.267は0.001を267個集めた数で、0.28は0.001を280個集めた数です。267<280だから、0.267の方が小さいです。

6. 本時のまとめをする。

◎今日のまとめを考えましょう。

小数の大小は、整数と同じように数直線や大きい位を使ってくらべることができる。

7. 適応題を解く。

数直線を使って考えましょう。

①8.3, 8.25, 8.31を大きい順に並べましょう。

②8.35より0.02大きい数をかきましょう。

また、8.4より0.03小さい数をかきましょう。

数直線に書いて考えると、

①は、8.31>8.3>8.31です。

②は、8.37と、8.4より左に3つ小さいので、8.37になります。

か確認しながら比較できるようにする。

・整数の場合と同じように考えればよいことに気付かせる。

・数直線カードを大小複数枚用意しておき、書き込んで確かめながら話し合ったり、考えたりできるようにする。

・小数の大小関係について、根拠をもって説明することができる。(ノート)

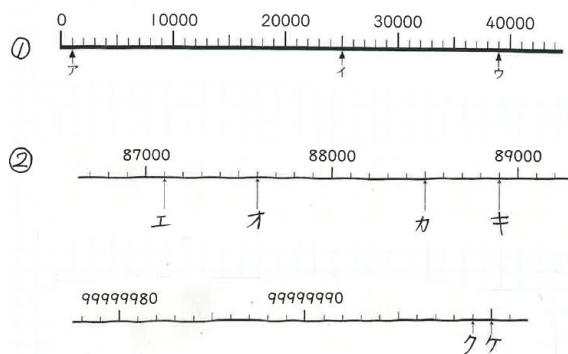
・数直線カードを大小複数枚用意しておき、書き込んで確かめながら話し合ったり、考えたりできるようにする。

③の数直線を見てください。
 ③の数直線は、10めもりで1万になっていますね。だから、1めもりが1000です。
 1000ずつ増えるので、キは75000、
 クは100000、ケは107000、コは
 122000になります。

1番小さい1めもりがいくつかを考えると、数直線を正しくよむことができる。

・数直線は、右に行くほど数が大きくなり、左に行くほど小さくなることを確かめる。

7. 適応題を解く。
 ◎次の数直線を見て考えましょう。



・4年生と一緒に振り返りを行う。

8. 本時の学習の振り返りをする。

・時間に応じて、教科書P. 88②③④, およびもっと練習 (P.136㉟㊱) を解く。

8. 本時の学習の振り返りをする。

・3年生と一緒に振り返りを行う。